

# 訪問栄養食事指導について

～訪問栄養士が果たす割合～

機能強化型認定栄養ケアステーション DRD

代表理事・管理栄養士 豊田綾子

2025.3.11 大和郡山保健所

# 目次

- ◆はじめに
- ◆在宅訪問栄養食事指導の実際
- ◆事例紹介
- ◆まとめと質疑応答

# 管理栄養士の力

で自分ら  
ーを支え  
して行う  
。日本栄  
。栄養士の  
管理栄養  
して人材  
は自宅療  
現場を訪  
住和樹



## 自宅療養に

### 食事指導で病状

クもあるため、矢治さんはいなりずしや牛乳スープ、チーズなど栄養価が高く食べやすい食品を薦め、連絡ノートに記入して買い物をするヘルパーに伝える。ケーキが大好きな山田さん。糖尿病には良くないが、矢治さんは「これくらい量なら」と具体的に説

明する。在宅訪問のして約十年。食べるを維持するために「(生活の質)を重視容範囲を広く取り、んばいを探る」とい管理栄養士の訪問保険や介護保険で受る。厚生労働省などでは、介護保険によ栄養士の派遣が一七の三年間で一・二倍など、いずれも増加専門性の高い在宅栄養管理栄養士の新設は、まな病態の在宅療養増えていることが背る。リハビリなど多の連携も重視され

奈良県広陵町の豊さん(四)も在宅栄養管理栄養士。同県明日自宅で療養する荒川(六)を月一回訪ねる  
荒川修さんのベッド脇で、友希さんと栄養士エツ、豊田綾子さん、奈良県明



機能強化型認定栄養ケア・ステーション  
ディー・アール・ディー  
Dear Registered Dietitians

## 沿革 / HISTORY

- 2014年 ● 「地域栄養ケアセンターとよだ」を公益社団法人日本栄養士会ケアステーションモデル事業として開設。  
「食を大切に」をモットーに地域における食生活支援を展開。
- 2018年 ● 日本栄養士会認定栄養ケア・ステーションに認定。  
登録管理栄養士 2名体制となる。
- 2020年 ● 登録管理栄養士 5名体制となる。
- 2021年 ● 日本栄養士会機能強化型認定栄養ケア・ステーションに認定。
- 2022年 ● 事業所名を「機能強化型認定栄養ケア・ステーション ディー・アール・ディー」に変更。



機能強化型認定栄養ケア・ステーション  
ディー・アール・ディー  
Dear Registered Dietitians

# 機能強化型認定栄養ケアステーション DRD

項目	対象者と内容
訪問栄養指導	在宅療養者及びその介護者に対する居宅訪問を行い、医療保険および介護保険の適用下で介入を実施します
外来・集団栄養指導	病院を受診する患者に対して、病院や診療所において栄養指導を行います
栄養講座 高齢者の介護と医療の一体的実施	地域住民や75歳以上の高齢者を対象に、行政からの委託で実施する 栄養講座や居宅訪問も実施します
訪問栄養士人材育成	訪問栄養士を増やすために講義や同行訪問を実施します
地域ケア会議 地域リハビリテーション事業	行政からの委託により実施 居宅訪問も実施
栄養士養成施設・ 医療福祉関係者へ栄養教育	栄養士・多職種等 医療、福祉関係者への教育・講演を実施します
障害児・者への 栄養サポート	施設へ訪問し、介護士や調理員に対して調理指導を行います。また、実費での訪問栄養指導も実施します

# 管理栄養士の訪問サービスをご存じですか？

## 在宅訪問栄養食事指導とは

自宅や施設などで生活する個人に対して、**栄養に関する適切な食事指導**を提供する活動で、個々のニーズや状況に合わせて実施し、その人の健康と生活の質を改善を目指す。

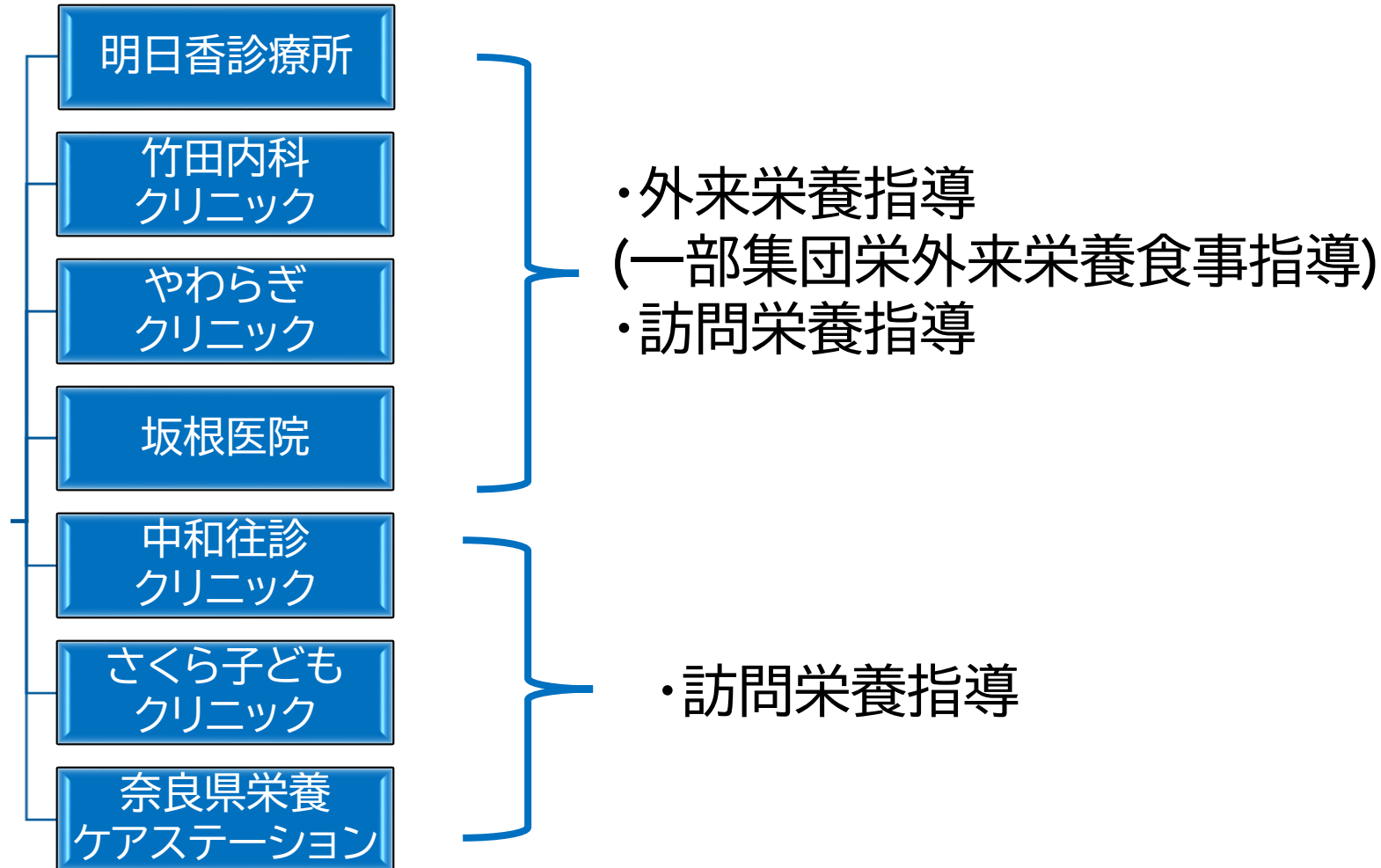
医療保険は「**在宅患者訪問栄養食事指導**」という名称で、介護保険では、「**居宅療養管理指導**」という名称で実施。

管理栄養士は、医師の指示に基づき特別食を必要とする、または、低栄養状態にあると医師が判断した利用者に対して、居宅または居住系施設を訪問し、栄養管理に関する情報提供および、栄養食事相談または助言を行った場合に、**※月2回(1回30分以上)を限度に算定**する。

※令和6年度社会保障制度改定で、見直しがおこなわれた

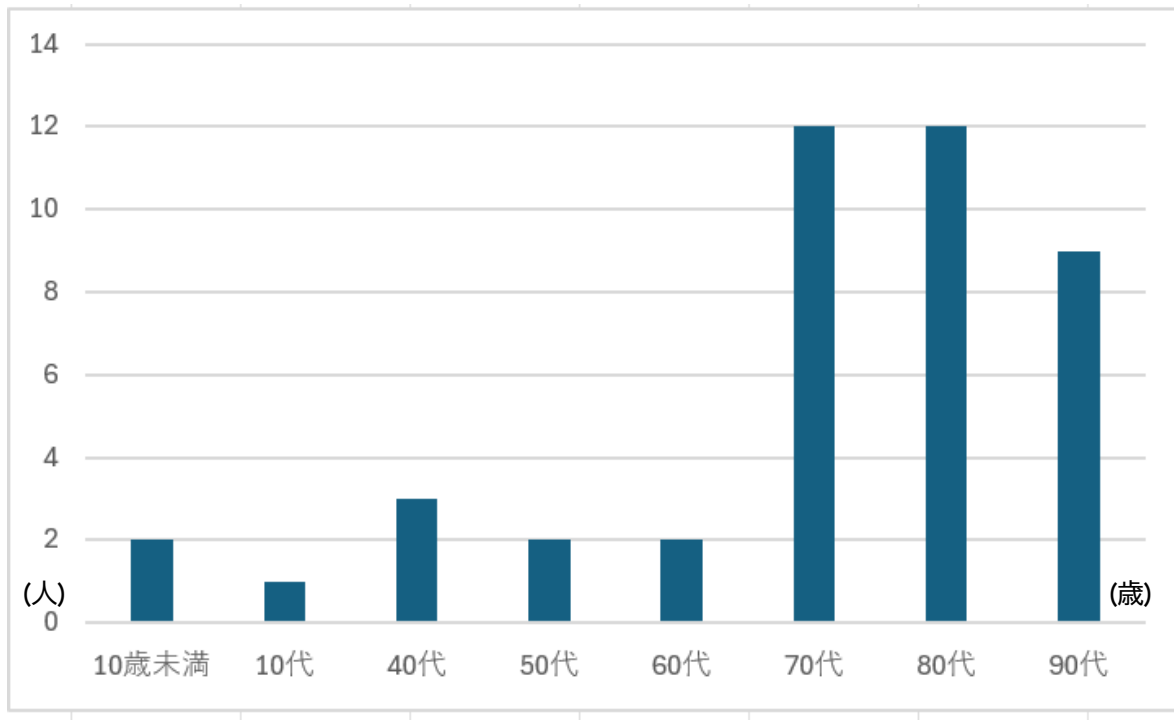
# 契約先（保険請求）

認定栄養ケアステーションDRDとして個人事業を営んでいるが、管理栄養士は保険請求業務が認められていない為、複数の医療機関、居宅療養管理指導事業所と契約を結んでいます

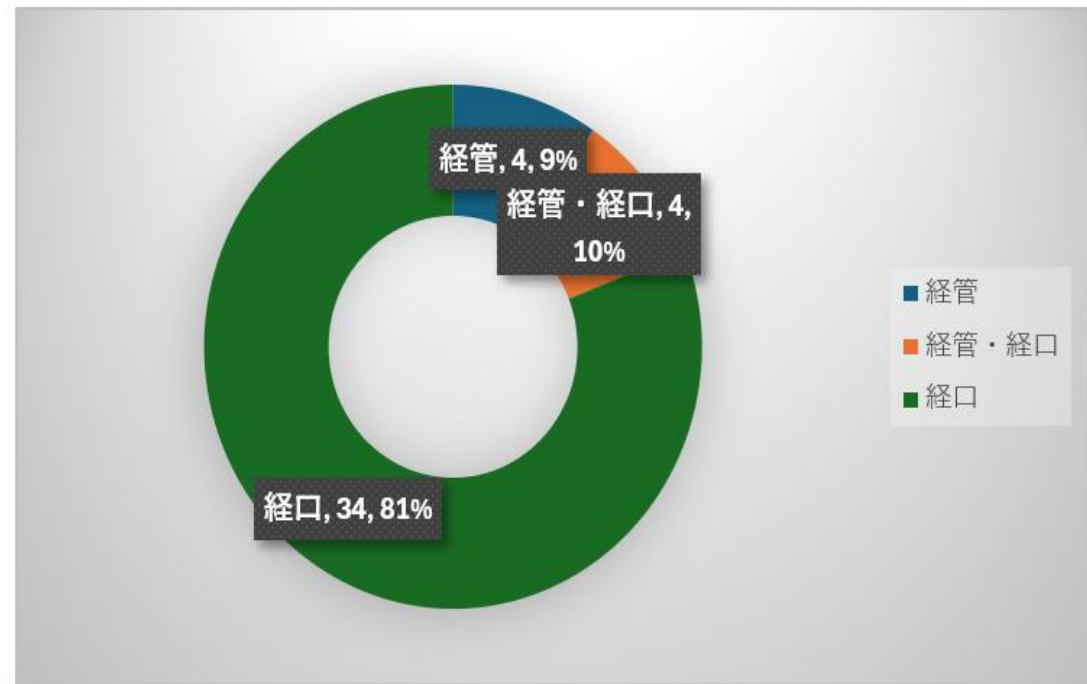


## 2025.2 訪問栄養食事指導 (42名)

### 年齢分布

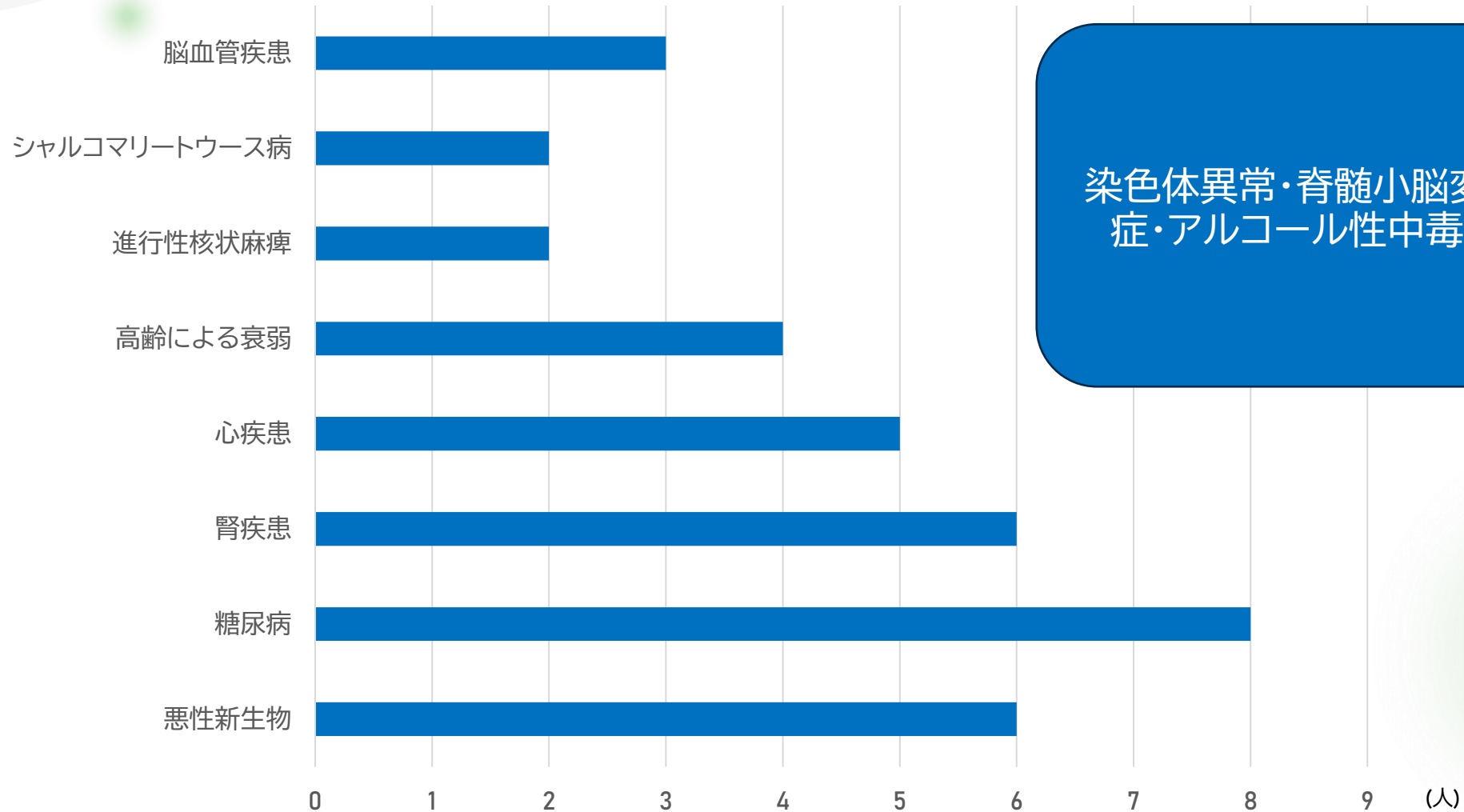


### 栄養摂取方法





## 2025.2 訪問栄養食事指導 (42名)



染色体異常・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症・アルコール性中毒・低酸素脳症など

# 訪問でおこなうこと

---

安心して食事を楽しめるように、食べ物の工夫・姿勢の調整や食べ方・食べさせ方のアドバイス

---

疾病に対応した食生活の支援

---

食事摂取量と栄養状態のチェック

---

調理指導・買い物指導・ヘルパー指導

---

状態に合わせた食事内容・形態などの指導

---

栄養補助食品、介護用食品、自助食器等の紹介

---

その他療養生活に関わる様々な相談

# 訪問でよくある事



好きな物しか食べない



調理器具が少ない



食材がない



165Kcal



糖質に偏る



認知症

軟らかいもの  
しか食べない

# 症例

## パーキンソン病とうつをあわせもつ患者の訪問栄養食事指導

女性 70代 要支援1

病名 高血圧 うつ パーキンソン病

家族構成 夫と2人暮らし 近所に住む次男・次長男嫁も協力的

### 訪問のきっかけ

地域リハビリテーション支援事業として地域包括支援センター介護支援専門員より訪問依頼→地域ケア会議→居宅療養管理指導で訪問栄養食事指導を継続する

訪問栄養食事指導介入当初は食べられないことが多く、痩せが進行していた。外来に点滴に行っていた。抗精神薬の内服も多かった。最近は調子に波はあるものの、比較的食事を摂取できるようになり、台所へ立つことも増えている。  
夫ととても仲が良い。

# 訪問栄養食事指導の経過報告

(初回) (40分～1時間)

## 指導した内容

- 自己紹介 訪問栄養食事指導依頼の経緯 (CMからの説明も)
- 本人やご家族の困っていることの聞き取り
- Drからどういう指示がきているか。どう連携していくかのなどの説明
- 現在入っているサービスや多職種との関わりなど
- 現状を聞いてのアドバイス(食べやすい食材や食べ方などの説明など)

## 得られた効果

- 本人もご主人も意欲がある
- 主治医を信頼している
- 病識に乏しい 現状の理解ができていない
- 訪問看護・リハビリが入っている
- 食事は、口の中でまとめて飲み込みやすいものが多く、コロツケやマカロニサラダなど糖質の多い食品が中心
- 訪問中、ポン菓子を食べてもらった。しっかりと咀嚼ができ、嚥下にも問題は見られなかった。ただし、食べ物を口の中に次々と入れる傾向があった。
- 歯科衛生士介入の提案(CMと共に)

# 訪問栄養食事指導の経過報告

二回目以降から現在

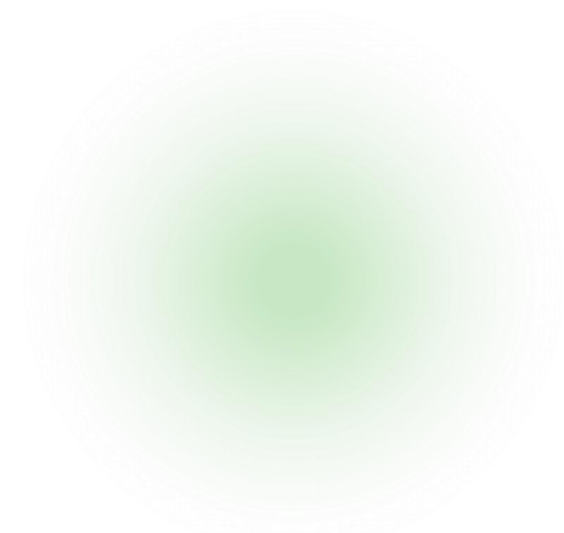
## 歯科衛生士による評価

- 口腔内清掃はできている
- 咀嚼力の低下はみられるが、飲み込みは問題なし
- パーキンソン病の影響により、ため込みなどはみられるが介護者の声掛けなどでできるようになる
- 口腔体操、食前によく動かすことでもう少し食事をスムーズに食べられるようになる

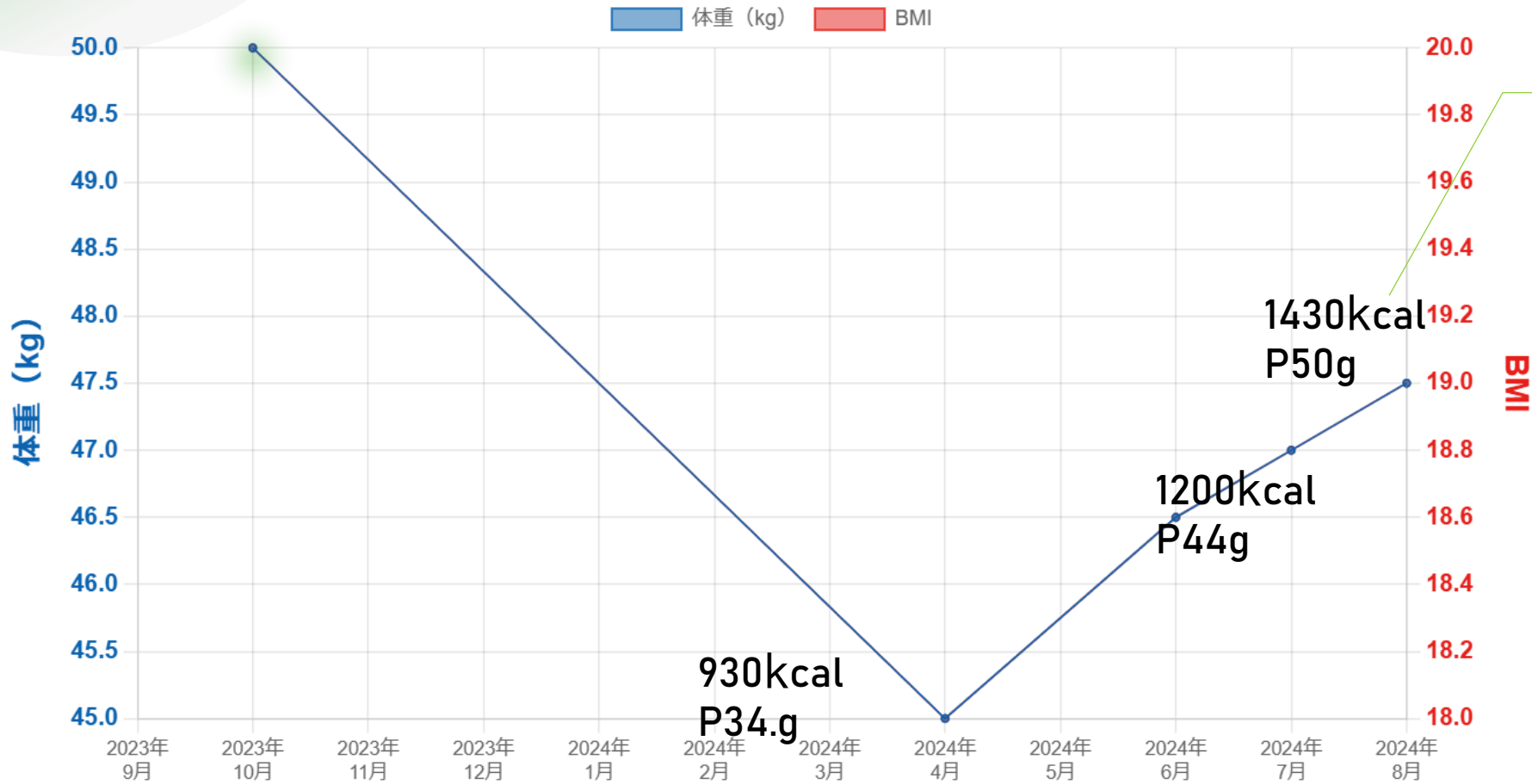
## 摂取エネルギー増加の提案

- 主治医にエンシュアリキッドの処方希望
- お粥⇒軟飯への変更
- エネルギー量アップのメニュー提案
- 宅配弁当の利用
- おやつ工夫
- 調理指導





# 訪問栄養食事指導の経過報告



訪問栄養介入

**朝:**  
 ピザトースト コーヒー牛乳ヨーグルト 栄養剤1/2缶  
**昼:**  
 軟飯100g 豆腐50g  
 なすびの煮物 温泉卵1個  
 きゅうりの浅漬け  
**間食:**  
 シュークリーム1個  
 栄養剤1/2缶  
**夕:**  
 焼き飯  
 (ご飯100g・ツナ缶1/2缶・卵1/2個・ねぎ)  
 きゅうりの浅漬け

# 訪問栄養食事指導の経過報告

## 本人の変化

- 表情の変化
- 台所に立つことが増えたことが喜び
- 病気について、理解しようと努め、努力がみられるようになった
- 言葉が増えた

## ご家族の変化

- ご主人が食事の用意に困ることが減った
- 無理強いをしないようになった
- 子どもさん達の理解が進んだ
- 受診同行の際に医師などに伝える言葉が変わってきた

## まとめ

- 在宅訪問を開始して11年が経過しましたが、現状として**広がりがまだ十分でない**ことを感じています。しかし、令和6年の診療報酬改定により、**在宅訪問を行う管理栄養士が増加**することが期待されています。それに伴い、人材育成が重要な課題であると認識しています。
- 管理栄養士として、在宅療養生活を送っている方やそのご家族に少しでも役立てるよう、これからも努力を続けてまいります。皆さまと共に、**より良い奈良県を築いていきましょう。**

ご清聴ありがとうございました